

## PPP と EPR の関係について

### PPP とは...

Polluter - Pays Principle (汚染者負担の原則):

1972 年に OECD により汚染者管理費用の割り当てのための経済的手法として採用される。

汚染防止や管理の費用を汚染者が負担し、必要な対策をとるべきという考え方。

公平な国際貿易競争のために作られ、自然資源の効率的な配分、無駄遣いを減らすことなどが目的とされる。

ここには、Polluter = Producer とされる。

### EPR とは...

Extended Producer Responsibility (拡大生産者責任)

一般廃棄物問題解決のために作られた経済的手法。

廃棄物の収集、分別、再利用、リサイクル、消却、最終処分責任を従来の地方自治体から民間へ移すことを目的とする。

OECD において EPR は PPP に基づき、廃棄物処理の責任を生産者に負わせようとしている。

### 拡大生産者責任の範囲

生産・流通段階	消費段階	廃棄物処理段階
<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働者の安全性</li> <li>・生産工程から環境への汚染排出の防止と管理</li> <li>・産業廃棄物の十分な管理に対する資金的・法律的な責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な製品に関する民事的な責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費後製品の管理に関する資金的、物理的責任。</li> </ul>
従来の生産・流通業者の責任範囲		従来の行政の責任範囲
拡大生産者責任(EPR)の範囲		

(1999 年度版 『産業と地球環境』 真中規行)

問題点:

はたして、Polluter=Producer という PPP の考え方を EPR に持ち込むべきなのか?

消費者には責任はないのか? 消費者を生産者は “stand on equal ground” ではないのか?

すべての生産物が環境を汚染する廃棄物となるのか? 本当に生産者は汚染者であるのか?

EPR を行うに当たっては、生産者の協力が不可欠である。そのためには、頭から生産者を汚染者と決めつけるような議論を持ち込むことは果たして良いことなのであろうか?

“Extended Producer Responsibility” であるのか、

“Extended and Shared Producer Responsibility” であるのか、

それとも、

“Extended and Shared Responsibility for Products” であるのか。